

能楽堂で、能・狂言ゆかりの日本舞踊の数々

ゆかり
第3回「所縁の日本舞踊」

令和5年10月29日(日) 午後2時開演(午後1時開場)

箏 曲「熊野」 水木扇升

常磐津「三つ面子守」 藤間翔央

常磐津・長唄「身替座禅」 水木佑歌、花柳源九郎

長唄「綱館」 藤間恵都子、花柳基

開館28年謝恩

横浜能楽堂

「中締め」

特別公演



「身替座禅」奥方玉の井／水木佑歌
撮影：みやはらたかお



「綱館」真柴実は次木童子／藤間恵都子
撮影：宮原慶子

チケット料金：S席 6,000円 A席 5,000円 B席 4,000円

お申込み・お問合せ：横浜能楽堂

〒220-0044 横浜市西区紅葉ヶ丘 27-2

電話 045-263-3055 (9:00～18:00)

Web <https://yokohama-nohgakudou.org/>

横浜能楽堂

主催：横浜能楽堂（公益財団法人横浜市芸術文化振興財団）

助成：文化庁文化芸術振興費補助金（劇場・音楽堂等活性化・ネットワーク強化事業）

独立行政法人日本芸術文化振興会



横浜能楽堂

同世代の女性舞踊家の先頭を走る藤間恵都子と水木佑歌らが、能・狂言とゆかりのある曲を能舞台上で踊ります。

宝生流の能楽師の血筋である山田流の流祖・山田検校が、謡曲を基として作った箏曲の大曲「熊野」。この曲に、初めて振付し、山田流を代表する萩岡松韻の歌と演奏に合わせて、水木扇升が遊女の「熊野」に扮して踊ります。

「三つ面子守」は、狂言面を元とする「おかめ」「ひょっとこ」「えびす」の3つの面を使い分けながら踊るのが見どころです。「身替座禅」は、狂言「花子」を舞踊に移した曲で、歌舞伎の人気曲。歌舞伎では男性の役者が奥方役を喜劇的に演じますが、今回は女性舞踊家ならではの演出でお送りします。

長唄の大曲「綱館」は、能「羅生門」の後日談とも言える曲。とられた片腕を取り返しにやってくる鬼女と渡辺綱の戦いを描く激しい立ち回り、長唄の迫力ある演奏が魅力です。

常磐津・長唄・箏曲ともに、現代を代表する演奏家が顔を揃えました。

箏曲「熊野」

水木扇升

箏曲「熊野」(ゆや)

『平家物語』巻十に記された、平宗盛とその寵愛を受けた遊女・熊野の物語をもとにつくられた能「熊野」。その詞章(歌詞)の一部をほぼそのまま用いて構成された作品。流祖山田検校の作曲によるもので、山田流箏曲のなかでも特に大事に扱われている「奥四曲(よつもの)」の一つ。今回は、水木佑歌の振付で、初めて舞踊として上演される。

常磐津「三つ面子守」

藤間翔央

常磐津「三つ面子守」(みつめんこもり)

田舎から出てきて雇われている子守娘が、祭礼で買って来た、おかめ、ひょっとこ、恵比寿の面をつけて踊るユーモラスな作品。子守娘の素朴さと、三つの面による役柄の変化が見どころで、江戸の神楽囃子が多く入った音楽も楽しい一曲。使われる面は、狂言面から転じた神楽面を模したものの。

常磐津・長唄「身替座禅」

一狂言「花子」より

山藤右京: 花柳源九郎
太郎冠者: 花柳寿々彦
侍女千枝: 水木歌蓮
侍女小枝: 水木紅耶
奥方玉の井: 水木佑歌

常磐津・長唄「身替座禅」(みがわりざぜん)

狂言「花子」に取材した曲。滑稽なやりとりのなかにも品格が求められ、狂言では特に演じるのが難しいとされる大曲のひとつ。舞踊も筋はほぼ同じ。妻の目を盗んで恋人の花子に会いに行きたい男・右京は、一計を案じて家来の太郎冠者に身替わりをさせる。歌舞伎では、男の色気たっぷりの優男・右京と、いかつい役者が演じる鬼のように怖い妻との対比が見どころになっている。

長唄「綱館」

真柴実は茨木童子: 藤間恵都子
渡辺源次綱: 花柳基

長唄「綱館」(つなやかた)

源頼光の家来・渡辺綱が、鬼神と格闘してその腕を切り落とすまでを描いた能「羅生門」。長唄「綱館」は、その後日譚となっている。腕を取り返しに伯母に化けてやってきた鬼・茨木童子が正体を現し、渡辺綱と壮絶な戦いを繰り広げる。ダイナミックな長唄の演奏と、激しい立ち回りが見どころの作品。花柳輔太郎振付。

箏曲 箏: 萩岡松韻 萩岡由子 三絃: 萩岡松柯

常磐津 浄瑠璃: 常磐津兼太夫 常磐津菊美太夫 常磐津若羽太夫

三味線: 常磐津文字兵衛 常磐津菊与志郎 上調子: 常磐津紫十郎

長唄 唄: 今藤政貴 杵屋巳之助 杵屋正則

三味線: 杵屋栄八郎 杵屋勝十郎 杵屋五助

囃子 福原徹彦 藤舎清之 望月正浩 望月秀幸 望月太左幹 福原鶴之助

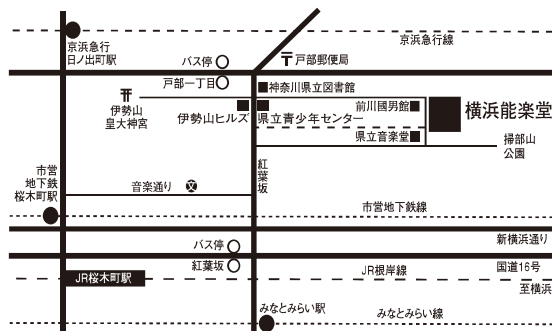
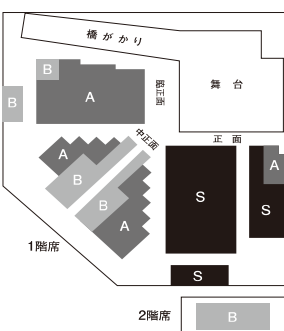
プロデューサー: 中村雅之



藤間恵都子(ふじま えつこ)
横浜市生まれ。1987年日本舞踊協会新春舞踊大会1位・文部大臣奨励賞、2003年松尾芸能賞新人賞、2007年文化庁芸術祭優秀賞など受賞。



水木佑歌(みずき ゆか)
1984年日本舞踊協会新春舞踊大会特別賞・文部大臣奨励賞・大会賞、2015年第46回舞踊批評家協会賞など受賞。(公社)日本舞踊協会理事。



交通のご案内

◇電車利用/JR「桜木町」下車北改札・西口徒歩12分、市営地下鉄線「桜木町」下車南1出口徒歩12分、みなとみらい線「みなとみらい」下車徒歩20分、京浜急行線「日ノ出町」下車徒歩15分(タクシー利用は各駅共約5分)
◇バス利用/戸部1丁目(市営バス103、292系統)下車徒歩5分/紅葉坂(市営バス8、26、101、105、106系統/神奈中バス横43、横44、港61系統/京急バス110系統)下車徒歩9分
※駐輪場・駐車場はございません。ご来場の際は電車・バスをご利用下さい。
※内容・出演者に変更がある場合がございます。あらかじめご了承下さい。※会場への飲食物の持ち込みはご遠慮下さい。※お買い求めいただいたチケットは公演中止の場合を除き、変更払い戻しはいたしません。※公演中止の場合に、旅費等の補償はできません。チケット券面額以外は一切ご返金できません。

〒220-0044 横浜市西区紅葉丘2-7-2
<https://yokohama-nohgakudou.org> tel.045-263-3055